

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	漁港漁場整備課長 角 敬	電話番号	0852-22-5316
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	漁港整備事業		
目的	(1) 対象	漁港を利用する漁業従事者等	
	(2) 意図	漁業活動が安全で効率的に行えるようにする。	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁船の安全係留を可能とするために、外郭施設（防波堤等）、係留施設（岸壁等）を整備</li> <li>・漁業の拠点施設や、漁具の修理・保管場所などを確保するため、漁港施設用地を整備</li> <li>・漁獲物の搬出輸送をスムーズにし、流通時間の短縮を図るため、臨港道路を整備</li> <li>・老朽化に伴い更新する必要がある漁港施設の長寿命化対策</li> </ul> 以上、水産基盤整備事業等の国庫補助事業を活用して、整備・長寿命化対策を行う。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	防災拠点漁港の耐震強化岸壁整備率	目標値	34.4	55.0	60.4	67.6	%
	式・定義	整備済箇所数/防災拠点漁港数	取組目標値					
			実績値	27.1				
			達成率	-	-	-	-	%
2	指標名	流通・生産拠点漁港における、耐震・耐津波診断の実施率	目標値	13.9	66.7	88.9	100.0	%
	式・定義	診断済施設数/主要な陸揚岸壁及び防波堤の計画数	取組目標値					
			実績値	13.9				
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	1,755,391	2,447,080
うち一般財源 (千円)	189,164	87,622

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	⑤今年度新規
---------------------	--------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・現行の指標である漁港施設（防波堤等）の整備率は、H27実績で93%</li> <li>・国は国土強靱化に資するため、漁港施設の防災・減殺対策を3本柱の一つとして重点的に取り組んでいる。具体的には、漁港施設の地震・津波対策と老朽化した漁港施設の長寿命化対策である。</li> <li>・防災拠点漁港4港の内、耐震強化岸壁整備済み1漁港。現在浦郷漁港で事業中であり、H28年度から浜田漁港で事業着手</li> <li>・流通・生産拠点漁港における、主要な陸揚岸壁及び防波堤の耐震・耐津波診断の実施率はH27実績で13.9%</li> <li>・機能保全計画（長寿命化計画）については、県管理漁港は全て策定済み。市町村管理漁港の策定率はH27実績で38%</li> </ul>
---

6. 成果があったこと（改善されたこと）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・防波堤などの整備については、現行の指標で計画していた施設整備は概ね完了した。</li> <li>・県管理漁港では機能保全計画を策定し、保全工事に計画的に実施している。</li> <li>・今後は、防災拠点漁港における耐震強化岸壁の整備や流通・生産拠点漁港について、重点的に施設整備を行う。</li> </ul>
---

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

<p>①困っている「状況」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・流通・生産拠点漁港の主要な陸揚岸壁及び防波堤の地震・津波対策が遅れている。</li> </ul>
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・島根県の構造物設計に必要な津波高が設定されていない。</li> </ul>
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早期の津波高設定が求められている。（現在、島根県地震津波防災対策検討委員会で検討中）</li> </ul>

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・H29年3月頃に想定津波高が設定される見込みであり、流通・生産拠点漁港における耐震・耐津波診断について、新たに指標を設定し計画的に実施する。</li> <li>・診断結果を受け必要となる改良工事等については、予算の状況のみで実施時期を今後検討する。</li> </ul>
---

9. 追加評価（任意記載）

<p>課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。</p> <p>上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。</p>
---